

平成29年度事業報告書

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

1. 平成29年度事業の概要

歴史を生かしたまちづくりに大切な歴史的資産を都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから29年を経過した。本年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究を初め、保全・活用を目指した歴史的資産の取得等の事業を積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

また、合わせて「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

平成29年度において実施した具体的な事業は以下のとおりである。

2. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

（1） 歴史的建造物保全・活用計画関連調査等

（ア） 歴史的建造物保全・活用関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するため調査を実施した。この調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、写真撮影、地図へのプロット等の作業を実施した。調査結果は、当調査会の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」の内容に活用するとともに、横浜市認定、登録歴史的建造物等への具体的な歴史的建造物保全・活用するために役立てることとした。

< 自主調査 >

① 旧湘南電鉄（京急）瀬戸変電所耐震改修設計調査（横浜市金沢区）

当公社団が京急より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、事前に建屋のコンクリート等の耐震診断調査及び現況把握調査を行った。

調査者＝山手総合計画研究所、西澤英和氏（関西大学教授）ほか

② 旧倉石忠雄家住宅現況把握調査（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の現況把握調査を行った。

調査者＝千曲市文化財センター所長矢島宏雄氏ほか

③ 旧モーガン邸復元再生調査（藤沢市大鋸）

相談室案件として不審火で焼失した旧モーガン邸の再生を目指し復元に向けた計画調査を実施した。この結果を踏まえ、再生に向けた調整を所有者の藤沢市、（公財）日本ナショナルトラストと調整する方向である。

調査者＝水沼淑子氏（関東学院大学教授・当公社理事）

大野 敏氏（横浜国立大学教授・当公社理事）

小沢朝江氏（東海大学教授・当公社社員）

菅 孝能氏（山手総合計画研究所）

NPO 法人旧モーガン邸を守る会 他

<受託調査>

◎現況把握調査

「歴史を生かしたまちづくり相談室」等に相談のあった歴史的建造物等のうち必要なものについて、現地調査や写真撮影、文献調査、図面採取（配置図、平面図、立面図、断面図）等によって概況調査票を作成した。

- ① 横浜港外防波堤（赤・白灯台）（中区）
- ② 旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）（金沢区・認定/市指定特定景観形成歴史的建造物）
- ③ 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫（中区・認定）
- ④ 西谷浄水場（保土ヶ谷区・国登録）
- ⑤ 井土ヶ谷上町第一町内会館（旧井土ヶ谷見番）（南区・市登録）
- ⑥ 馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）（中区・認定）
- ⑦ 横浜指路教会（中区・認定）
- ⑧ 旧ヘルムハウス遺構（中区）
- ⑨ 中山恒三郎家店蔵及び書院（都筑区・市登録（平成30年3月認定））
- ⑩ 山手133番館（中区・市登録）

◎登録及び認定歴史的建造物等の候補対象調査

登録又は認定歴史的建造物の候補である建造物について、現地調査等必要な調査を行い、所見や図面を作成した。

- ① 旧市原重治郎邸（神奈川区・市登録（平成30年3月認定））
- ② 中山恒三郎家店蔵及び書院（都筑区・市登録（平成30年3月認定））
- ③ 横浜港外防波堤（赤・白灯台）（中区）
- ④ 山手133番館（中区・市登録）

◎歴史的建造物に関する保全・活用計画案の策定又は変更案の作成

認定候補又は認定歴史的建造物について、資料及び価値の整理を行ったうえで、今後の保全活用の方針をまとめ、保全部位とその意匠、色彩、材料、構造等に関する事、敷地利用に関する事、その他保全活用について必要なことを内容とする保全活用計画案を作成した。

- ① 中山恒三郎家店蔵及び書院（都筑区・市登録（平成30年3月認定））
- ② 旧市原重治郎邸（神奈川区・市登録（平成30年3月認定））
- ③ 横浜指路教会（中区・認定）
- ④ 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫（中区・認定）

◎歴史的建造物の耐震改修に関する検討

当初構造図が確認できない歴史的建造物（近代建築）について、旧湘南電鉄（京急）瀬戸変電所を対象にしたケーススタディを通して、耐震改修の検討を行った。

- ・当公社での建屋コンクリート耐震調査と手分けし、別の個所で調査をおこない、構造図作成に必要な追加データを得た。
- ・歴史的建造物、特に鉄筋コンクリート造の近代建築における耐震改修のフロー図を作成した。

◎戦後建造物の評価に関する制度の検討

検討にあたっては、横浜市歴史的景観保全委員へのインタビューを行い、そのインタビューの中から戦後建築の評価基準について検討した。評価基準に加えるべき視点、評価の対象となる具体的な建造物、保全方法の考え方についてまとめた。

(イ) 歴史を生かしたまちづくり市民相談室の実施

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を集める相談室を開設している。

年度末までに旧ライジングサン横浜本社ビル回転扉の保全、山手133番館・天野家住宅、細野燕台家茶室（鎌倉市山ノ内）の3件の相談が寄せられ、当調査会、横浜市の担当部署と定例会議を開催し、その対応を検討し、専門家等の協力の下、調査を実施した。保全・活用に向けた具体的なアドバイスを行うなど成果が生まれている。

特に旧ライジングサン横浜本社回転扉の保全に関しては、解説版の設置等に関してアドバイスをおこなった。また、細野燕台家茶室に関しては、鎌倉市と連携し具体的な保全の方向性を所有者に提案した。

(ロ) その他受託事業

◎内海川跨線人道橋歴史的資産価値調査（横浜市道路局からの受託）

内海川跨線人道橋は、横浜駅の東京方に架かる歴史的跨線橋で、昭和5年に竣工と言われている。部材は古レールや古鉄材を再利用したものである。多くの人に長年親しまれてきたが、近年、横浜駅北口自由通路の完成に伴い、撤去される予定である。このための記録調査を行い、成果を報告書にまとめた。

調査者＝増渕文男氏（ものづくり大学名誉教授・当公社社員）
小野田滋氏（鉄道総合技術研究所情報管理部長）

◎俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導業務

（（公財）横浜市緑の協会からの受託）

平成29年4月から公開された「俣野別邸」（横浜市戸塚区）の公開に

に伴い、同邸内の保存活用運営に関し、アドバイス等を業務として行った。併せて、スタッフ等への歴史セミナーやコンサートなどのイベントの提案・実施に関する助言を行った。

コーディネーター＝米山淳一（当公社常務理事）

（２） 保全・活用事業

◎野毛都橋商店街ビル(横浜市中区)

(公財)横浜市建築助成公社より寄贈を受けた野毛都橋商店街ビルの保全・活用を積極的に行った。特に日常管理を行っている横浜野毛商業協同組合と共同で円滑な管理を行う一方、特にTVドラマや雑誌の取材協力等を通じ、広く歴史文化的価値をアピールした。

（３） 普及啓発、人材育成事業

(ア) 自主企画セミナー、シンポジウム等

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等を以下のとおり開催した。

<自主事業>

① シルクロード・ネットワーク・福島フォーラム2017

日 時 平成29年6月25日(土) 講演会、シンポジウム、交流会
平成29年6月26日(日) 市内絹文化等見学会

主 催 (公社)横浜歴史資産調査会、NPO街・建築・人再生集団

共 催 福島民報社、福島市教育委員会、新庄市教育委員会、

後 援 福島県教育委員会、伊達市教育委員会、川俣町教育委員会
桑折町教育委員会、国見町教育委員会

講 演 村川友彦氏(福島市文化財保護審議会委員)

佐滝剛弘氏(高崎経済大学特命教授)、

脇坂隆一氏(国交省都市局公園緑地・景観課緑地環境室
国際緑地環境対策官)

パネルディスカッション 横手市、鶴岡市、新庄市、福島市、前橋市、
川越市、入間市、日野市、横浜市の代表

コーディネーター 後藤 治氏(工学院大学理事長)、米山淳一、

参加者 約120名

② 第11回横浜山手芸術祭参加 コンサート in ヘリテージ

「ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.5」

日 時 平成30年2月15日(水) 18時～20時

場 所 ベーリック・ホール（横浜市認定歴史的建造物）
演奏者 後藤 泉さん
曲 目 グリーグ：抒情小曲集より「春に寄す」
ドボルザーク：ユーモレスク
ドビュッシー：月の光
シューベルト～リスト：糸を紡ぐグレートヒェン
ショパン：ノクターン 遺作
ショパン：幻想即興曲
ベートーベン＝ピアノソナタ第14番 嬰ハ短調
o p . 27-2 「月光」
第一楽章 アダージョ・ソステヌート
第二楽章 アグレット トリオ
第三楽章 プレスト・アダージョ

参加者 約60名
協 力 横浜市都市整備局 都市デザイン室
協 賛 三陽物産株式会社

③ ヨコハマ ヘリテイジセミナー2018

「光り輝く近現代歴史的建造物は宝」

日 時 平成30年2月23日（金）午後6時30分～21時

場 所 横浜開港記念会館 講堂

講 演 「近現代歴史的建造物の保存手法について」
内田青蔵氏（神奈川大学教授・当公社社員）

シンポジウム

パネラー 戸田啓太氏（山手総合計画研究所）

「近現代建造物と野毛都橋商店街ビル」

藤岡泰寛氏（横浜国立大学准教授）

「横浜の戦後と防火帯建築群」

大平茂男氏（協同組合伝統技法研究会代表）

「古河の蔵の保存と活用」

渡邊研司氏（東海大学教授）

「山梨文化会館100年計画 近代建築保存と
活用に向けての提案」

コーディネーター 鈴木伸治氏（横浜市立大学教授・当公社理事）

参加者 約70名

<受託事業>

- (イ) 歴史を生かしたまちづくりセミナー、シンポジウム他（受託事業）
歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指して横浜市都市整備局他からの受託事業としてセミナー、見学会等を開催の他、「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」第33号の編集を行った。
- ① 歴史を生かしたまちづくりセミナー（vol. 40）
日 時 平成29年9月9日（土）9時～14時
場 所 ミニレクチャー＝黄金町高架下スタジオ
見学会＝大岡川ほか
「震災復興橋梁 in 大岡川」
ミニレクチャー <横浜の復興を支えた橋>
講師 中藤誠二氏（関東学院大学工学部教授）
見学会 大岡川・中村川クルーズ体験
震災復興橋梁や特徴的なまち並みを水辺から見学
（日之出棧橋—大岡川—中村川—堀川—横浜港—大岡川—日之出棧橋）
参加者 約60名
- ② 「横濱新聞」第33号の編集・配布
*市民、会員、関係機関等への配布を行った。
- ③ 「都市の記憶—横浜の近代建築（Ⅰ）復刻版の印刷・発行
- ④ 「都市の記憶—横浜の近代建築（Ⅱ）」、「都市の記憶—横浜の土木遺産」、
「都市の記憶—外交官の家」の3種について、復刻版の企画構成、原稿作成、編集、デザイン版下作成等を行った。

3. その他の収益事業

(1) 収益事業

平成29年度においては、収益事業として刊行物の販売を行った。

- ◎都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物 110冊
- ◎「都市の記憶—横浜の土木遺産」 49冊
- ◎ヨコハマヘリテイジブックレット(2) 91冊
「港・鉄道・横浜」

(2) 支援体制(会員事業)

当調査会の事業の益々の発展を目的に継続的な支援をうるために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジサポートクラブを幅広く会員募集を行った。

合わせて、季刊「ヘリテイジスタイル」を2回発行した。